

熊野百間溪谷自然学校 設立の趣意

熊野百間溪谷自然学校は、熊野にあります。そこは和歌山県田辺市三川、富里から奥熊野にかけての地域。南限のブナ林自生地大塔山（1121.8m）を主峰とする1000m級の山岳地帯が東西を貫き、その峰々の南北の美しい渓谷は千古の昔から豊かな水を生み、木々を育ていきものをはぐくみ、人々が容易に入るのを拒んできました。

また、温暖多雨な気候と冷たく清冽な水で満たされた渓谷の成す複雑な地形は日本列島の中でも南にありながら冷温帯の生物を今に残し、同時に暖温帯の生物をもともに生存するという不思議な世界を形成しました。

しかし、歴史が進むにしたがい千古からの木々は伐られ、山には人々の暮らしが刻まれるようになり、山は人の手で植えられた木々が多くを占めるようになりました。けれど、百間山や安川の渓谷を巡る時、大塔山系の自然林を歩く時、そこには未だに命溢れる熊野の自然と出会うことができ、山間の集落では長く伝えられて来た暮らしに触れることができるのです。

私たちは、これらの自然とくらしの歴史を多くの人々と分かち合い、子ども達がきれいな水と空気と緑の中で生きていけるよう、おとなからこどもまで多くの人々の学びの場となるようこの学校を設立いたしました。

大切にしていること

そのⅠ

「自然に学び、自然を学ぶ」をコンセプトとし、フィールドの自然を教科書に命のつながり(生態系)を学びます。

そのⅡ

山里に伝わる「食の知恵」、「山にある木や草を暮らしにいかす知恵」、「遊び楽しむ知恵」は生きる力です。これらを掘り起こし伝えていきます。

そして、こども—自然—おとな

おとなとこども、共に
いま、ここにある自然に学び
その自然からもっと大きな自然を学ぼう

熊野百間溪谷自然学校

自然体験
活動

プログラム

ご案内



グループ・団体向け
平成23年度用

熊野百間溪谷自然学校は、
学校教育現場での校外学習・教育旅行、
児童館・子ども会・学童保育など様々な生涯教育の場での
自然体験活動のお手伝いをいたします。

1 エコツアー

紀伊半島は気候・地形の恵みを受けてソハヤキ要素といわれる氷河時代以前からの命をつないで来た植物たちが生きている地域です。木も花も岩も地球の歴史を語るストーリーテラー。

百間山溪谷・安川溪谷・大塔山系の山々に、自然学校のインタープリターとともに地球の命を訪ねましょう。



安川溪谷のトガサワラ

- ・エリア 大塔日置川県立自然公園域 熊野古道
- ・インタープリター・ガイド対応人数 15名まで/1人
- ・料金 15000円/半日 25000円/1日
- ・メリット 動植物、地球の成り立ちなど自然史への興味と、生命の連鎖への関心を引き出されます。

2 森のクラフト教室



2011年は「国際森林年」。切り捨てておいてある間伐材をみんなで活用しましょう。ご希望で間伐体験を組み込むこともできます（別料金）。

丸太の皮をむき、簡易製材機で板に加工。CDラックやプランターカバー、かわいいカッティングボードなどを造ります。小枝も利用、可愛いマスコットもオマケです。

- ・場所 田辺市旧大塔村内
- ・指導者 20名まで/2人
- ・指導料 20000円/1日
- ・材料費 2000円/1名
- ・メリット 材木について知識を深め、木を植え育て、森を造る林業について学べます。

3 羊さんのおくいもの(いのちの環境教育)

羊の毛を使うクラフトを中心に、生き物との触れ合い、野生動物と飼育動物について、羊料理を通していのちの恵みなどを学ぶプログラムです。宿泊を伴うキャンプにお勧めです。



- ・場所 田辺市旧大塔村内
- ・指導者 24名まで/2人
- ・指導料 30000円/1日
- ・メリット 羊をまるごと（羊毛の利用、羊料理）体験することによって私たちが様々な命の恵みによって暮らしていることを体感できます。
- ・材料費 3000円/1名

4 みんなでホッとお山のはたけ



春 茶摘みとお茶づくり

初夏 梅採りと梅加工

秋 茶畑の手入れ・柚子採りと柚子加工

熊野の山のお茶畑や果樹畑で、地元の人に教わりながらお茶摘みお茶づくり、果樹収穫を通して地域の暮らしを学びます。昼食はもちろん美味しい茶がゆと地元のお漬物そして田辺の干物つき。

- ・場所 田辺市旧大塔村内
- ・指導者 24名まで/2人
- ・指導料 20000円/1日
- ・材料費 1000円/1名
- ・メリット 無農薬のお茶や梅、柚子を通して食の安全を考えると共に、地域が活性化されます。

お問い合わせ 熊野百間溪谷自然学校

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川 597-59

Tel/Fax 0739-49-0434

E-mail: kumano.hyakken@gmail.com

URL: www.aikis.or.jp/~kumanohyakuken/